

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		こぶし事業所		第三者評価受審年度	元年度
	評価結果に基づく現状分析 (元年度)	改善計画 (元年度末時点)	実施状況 (2年度末時点)	実施状況 (3年度末時点)	
情報発信をして広く社会にアピールしていくことについて	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. A型利用者以外にも、障がい者を5～6名雇用しており、事業所のアピールとなっている。</li> <li>2. 現在ある広報誌は、会員通信として発行しているが、関係者にも広げて地域にアピールするよう改善が求められる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 他のA型でやってない障がい者雇用を進め内外に積極的にアピールしていく。</li> <li>2. 一般広報誌とすると利用者の氏名・顔写真の掲載などの課題が残っており、論議を進めたい。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者以外の障がい者雇用は、ハローワークでの理解もあり、区内のB型事業所等の認知度が上がり問い合わせが多くなってきた。</li> <li>2. コロナ禍で家族会も開けず、論議を深めることができなかった。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. A型利用者以外にも、障害者を7名雇用していることが、利用者を確保する上で、足かせになっており現在は利用者になる意思のある人を雇用するようにシフトしている。</li> <li>2. コロナ禍で家族会も開けず、論議を深めることができなかった。一般用と会員用の2種類に分けて作成するだけの余力がないこともある。</li> </ol>	
利用者への支援の強化のための情報の共有化と従業員の研修の強化について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 支援者間で利用者の情報が共有ができるように記録の充実が望まれる。</li> <li>2. 従業員の意識改革が求められており、研修の強化等を通して利用者への支援を強化したい。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現状の日常支援記録簿の充実をすでに始めており、負担なく充実できるように更なる工夫が必要。</li> <li>2. 現在進めている「障害者虐待防止」と「障害者差別解消法」の研修受講と併せて評価制度を導入することで事業所にふさわしい人材を育成したい。その取組をしていく中で利用者への支援強化を実現したい。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コロナ感染対策に追われた為か、一部に日常支援記録簿の単調化が進み、現在その修正をしている。</li> <li>2. コロナ禍のため外部研修に派遣できず、内部で行うチェックリスト対応と資料の配布しかできなかった。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コロナ感染対策に追われた為か、一部に日常支援記録簿の単調化が進み、個別に改善をしている。</li> <li>2. 令和3年度後半は、臨時職員も含めて外部研修に派遣することができた。内部で行うチェックリスト対応は続けている。</li> <li>3. 令和2年度から導入した評価制度をより前進させているが改善が必要。</li> </ol>	
今後の事業展開と利用者支援について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事務所移転新築と併せてA型の水準を達成できない利用者の処遇方針を明確化する。</li> <li>2. B型事業所の開設などの方針の明確化が求められている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の多くは、こぶし事業所に残りたいという要望があり、将来B型を併設して多機能型にする。</li> <li>2. 東京都の指導により、当面は利用契約のグループを作り、B型の対象者の受け皿として支援したい。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当面B型にかわる「利用契約のグループ」を作る目標を持っているが、事業所建設が重くのしかかり、物理的に論議ができる時間が取れなかった。</li> <li>2. A型事業所の最賃適用困難な利用者の対応に終始した面もある。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コロナ感染防止対策と事業所の建設に多くの時間が取られ対応が遅れている。</li> <li>2. 現在は利用契約グループを作る前段として、該当者等を対象に別グループを作る検討をしている。</li> </ol>	

※この様式は、「練馬区障害者日中活動系サービス推進事業運営費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。